

# 大学の世界展開力強化事業(平成29年度選定) 広島大学 取組概要

## 【事業の名称】(選定年度29年度・(タイプA(インド)))

先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための国際リンケージ型学位プログラム

## 【事業の概要】

日印間で優先度が高い「スマートインフラ整備」「新エネルギー」「環境持続性」の3分野及びその融合技術分野を対象に、「日印教育交流パッケージ」の実施を通じ、革新技術を社会へ実装する高度イノベーション人材を養成する。また、6つのインド協定大学との調整を重ね、地域課題に沿って技術開発の方向を誘導し、社会へ定着できるリーダーを養成する**国際リンケージ型学位プログラム(ILDP)**を構築する。

## 【交流プログラムの概要】

**グローバル・コンピテンシーを段階的に昇進させる**日印教育交流プログラムをパッケージとして提供する。その上で、日印協定大学間で制度調整のうえ効率的に接合させる新しい学位プログラムの構築を目指す。

提供する日印教育交流パッケージは、以下の3つのコースで構成される。

- **Entry Course:** 学部生、博士課程前期生を対象とし、専門外国語研修、企業案作成演習、異文化理解短期留学という3つの教育交流取組を通じて、それぞれ国際コミュニケーション、専門性、異文化理解というコンピテンシーの習得を目的とする。質保証として、留学の学習成果分析ツールで知られるBEVIテストを留学前後に実施。
- **Intermediate Course:** 学部生、博士課程前期生、後期生を対象とし、キャリアデザイン、日印協働研修という2つの取組から、自己理解、自主性を養成する。ホスト機関等の実務者による学修評価。
- **Advanced Course:** 博士課程前期生・後期生を対象とし、日印協働チーム研究、プロトタイプ演習を通じて、リーダーシップと協調性、成果志向と創造性を身に着ける。2種類の起業コンテストによる実地での学修評価。

## 【本事業で養成する人材像】

異分野の専門家と協働し、日印の社会課題解決に貢献する次のリーダーを育成する。

- 地域の社会課題に即した**革新技術を創生する起業家・技術者**
- 新たに創生された革新技術を**日印社会に適切に実装する政策立案者・研究者**

## 【本事業の特徴】

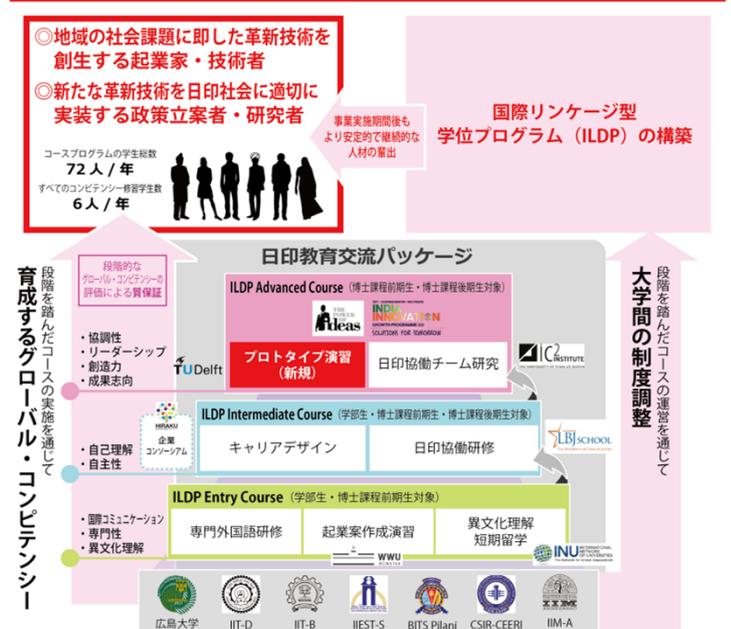
- ① 本学の国際交流の取組をパッケージ化し**段階的に**グローバル・コンピテンシーを高める日印協定大学間の教育交流プログラムの展開
- ② プログラムの全課程を通じて日印学生の主体的で優秀な提案を選抜して支援する**学生提案支援型教育**の徹底
- ③ブレインストーミングからインキュベーションまで**起業ステップ**を実践する日印学生協働チーム教育の実施
- ④ 日印両国に共通して重要性が高い「スマートインフラ整備」「新エネルギー」「環境持続性」の3分野及びその**融合技術開発**に資する起業家、技術者、政策立案者の輩出
- ⑤ 補助事業期間内に組織レベルのネットワークによる**緊密な大学間調整**と事業運営を通じて効率的に接合させる新しいリンケージ型学位プログラムの構築

## 【交流予定人数】

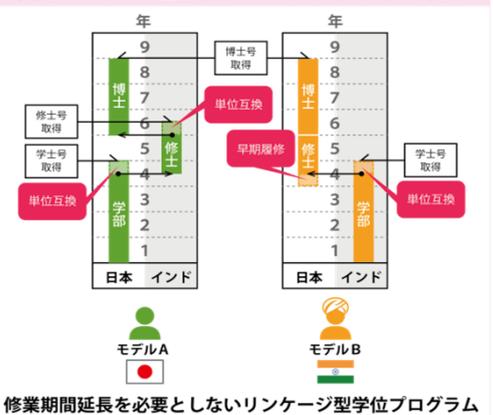
	H29	H30	H31	H32	H33
学生の派遣	18	36	36	36	36
学生の受入	18	36	36	36	36

## 革新技術を社会へ実装する高度イノベーション人材

地域ニーズに沿って技術開発の方向を誘導し、社会へ定着できるリーダーの養成



## 国際リンケージ型学位プログラム (ILDP) の構築



# 1. 取組内容の進捗状況(平成29年度)

【広島大学】

【事業の名称】(選定年度29年度・タイプA(インド))

先端技術を社会実装する高度イノベーション人材養成のための国際リンケージ型学位プログラム

## ■ 交流プログラムの実施状況

講義風景



〈 ILDP-START+プログラム(派遣)(2018年3月) 〉



〈 ILDP-Idea Mining Workshop(受入)(2017年12月) 〉

## 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

平成29年度は7つの「日印教育交流パッケージ」のうち、Entry Courseの専門外国語研修(ILDP-START+)並びにIntermediate Courseのキャリアデザイン(ILDP-Global Internship)及び日印協働研修(ILDP-International On-Site Training)を実施し、日本人学生23名及び本学の正規課程に在籍する外国人留学生4名を3大学へ派遣。合計27名をプログラム修了者として認定

### ○ 外国人学生の受入

平成29年度は7つの「日印教育交流パッケージ」のうち、Entry Courseの専門外国語研修(ILDP-START+)及び起業案作成演習(ILDP-Idea Mining Workshop)、Intermediate Courseのキャリアデザイン(ILDP-Global Internship)及び日印協働研修(ILDP-International On-Site Training)並びにAdvanced Courseのプロトタイプ演習(ILDP-Prototyping Workshop)を実施し、大学から計17名を本学へ受入れ、17名をプログラム修了者として認定

	H29	
	計画	実績
学生の派遣	18	27
学生の受入	18	17

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

- ・ 本学教職員によるインド6大学訪問を通じた、学生交流プログラム開始に向けた協議及び現地施設等の確認
- ・ 第1回ILDP会議(キックオフ会議)の開催を通じた、事業参加大学間の養成する人材像・理念の共有及び信頼関係の構築
- ・ 実務者会議の開催を通じた、日印間での学生交流プログラム実施に当たっての問題点の共有及び解決に向けた継続的な議論の開始



〈 第1回ILDP会議(2018年1月17日) 〉

## ■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

- ・ 事業の推進及び学生交流プログラムの企画・実施運営を担う学内組織の設置(ILDP運営会議)
- ・ 事業専任教職員による、学生交流プログラムの企画立案及び参加学生に対する修学・生活面での支援(ILDP事務室)
- ・ 学生交流プログラム参加者が履修する授業科目の一元的な開設及びシラバス作成を通じた、事業全体における各学生交流プログラムの位置付けの明示
- ・ インドに拠点を持つ日系企業への事業に対する協力要請及び派遣プログラムにおける現地企業訪問及び現地で活躍する日本人による講義等の実施

## ■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況、情報の公開、成果の普及

- ・ 本学及びインド6大学の学長等代表者に加えて、駐日インド大使をはじめとした両国政府・地方自治体関係者が一堂に会する形でキックオフ会議(第1回ILDP会議)を開催することによる、事業及び学生交流プログラム開始についての情報発信
- ・ 学内外の教育機関関係者だけでなく、民間の有識者で構成される外部評価委員会を開催することによる、平成29年度実施事業の自己点検、学生交流プログラム改善及び革新技术を社会へ実装する高度イノベーション人材を養成する「国際リンケージ型学位プログラム」の構築に向けた具体的な意見交換



〈 第1回外部評価委員会(2018年3月2日) 〉

## ■ グッドプラクティス等

- ・ 本学が実施する既存の海外派遣留学プログラム及び外国人留学生受入れプログラムのノウハウをインド大学との学生交流向けにアレンジすることによる、学生交流プログラムの企画から実施までの期間短縮及び事業初年度からの実質的な学生交流プログラムの実現